



# Bell Friend

鈴鹿短期大学 鈴友会会報 No. 3

平成 22 年 8 月 1 日発行



## ページ紹介

○ご挨拶	2
○鈴鹿短期大学の近況	3
○恩師を偲んで	4
○卒業生アンケート結果から	7
○鈴友会総会報告	8
・事業報告及び会計報告	
・新役員紹介	
○卒業生近況	10

## ご挨拶



会 長

増田 文子  
(昭和44年度卒業)

鈴友会の皆様、お元気でいらっしゃいますでしょうか。

Bell Friend 3号が出来上がりました。ゆっくりご覧になって下さい。学校の模様はいうに及ばず総会の様子など色々掲載させていただきました。今回は総会が、ホームカミングデーと同日となり、合同開催という運びになりました。何かにつけ教職員、及び在校生の方々にもお手伝いをいただき、深く感謝いたします。出席者も従来より多く、これまた嬉しい出来事でした。私達鈴友会役員にとって、出席者の増加をめざし、企画、連絡方法などで、試行錯誤の連続です。出席したいと思っても、仕事の事、家族の事、子供の事、等々で思いをめぐらせ、欠席をよぎなく選択なさってみるのが多数の方ではないでしょうか。そこには「時」という要素が絡んでくるのかもしれませんが。周りの事で身動きが取れない年代と、ちょっと開放される年代があるかと思えます。いかがでしょうか。今回の様に、草創期に卒業した方の出席が多かったのもそれにつながるのではと思われまます。「生きる事は人とつながること」「生きるとは他者と交流すること」ともいわれます。大学も歴史を積み重ねてきたように、卒業生の中にも、仕事に対しても、家庭人としても、何らかのひと区切りを終えられた年代の人が出始めてきました。これらの方々が母校を媒体として、卒業年代にかかわらず、つながりを深め、交流しあい、人と人との渦を、広げていったらいかがでしょう。そしてこれを契機に同窓会開催に発展していくのはいかがでしょう。ここから先が、各々のつながり、絆がものをいってくるでしょう。頼もしい限りです。どしどし斬新なアイデア、情報をお寄せ下さい。お待ちしております。ひとつひとつの努力が、鈴友会の活性化と発展につながっていくと思います。よろしくお祈りいたします。皆様方のますますのご活躍をお祈りいたします。



名誉会長

佐治 晴夫  
(鈴鹿短期大学 学長)

みなさんは、ご自分の顔をごらんになったことがありますか？鏡に映る顔は、上下は同じでも左右は反対です。写真も、小さな点の集合で、あなたの顔をそのまま映し出したものではありません。それでは、自分の顔、そして表情を見ることはできないのでしょうか。実は、あなたの表情は、あなたと向かい合っている相手の表情の中にあります。

考えてみれば、この世の中で自分ほど分からない存在はありません。あなたが思っているあなたと、他者が思っているあなたは同じではありません。お互いに影響を与えあいながら、存在しているのが人間です。そこで、重要な働きを担うのが「コミュニケーション」です。これは、人と人との間をつなぐ最も根源的な絆ですが、それだけに留まることなく、あなたをとりまく自然、宇宙との関わりも含みます。私たちが生きていくためには、呼吸することが不可欠です。呼吸は、体内に外界から酸素を取り入れ、体内で燃焼させて、二酸化炭素を外界に放出するプロセスですが、これも「コミュニケーション」です。

さて、本学は、食物栄養、養護福祉、そして、こども学という三つのコースを縦糸にして、それらを「コミュニケーション」という横糸で紡ぎながら、豊かな地域貢献につながる織物を作り出す教育機関だともいえます。食物栄養とは、生命を維持するために摂取する食物を超えて、心の栄養という意味も含みます。それは「共食」によってもたらされまます。養護福祉は、互いに助け合うことなしには生きていけない人間に必要な「共感」の上に築かれます。そして子どもの保育は、次代へと持続する生命を育てることであり、教えながら教えられるという「共育」の現場です。本学は、本年度、この三つの「共」を柱に、新しい第一歩を踏み出しました。どうぞ、同窓生のみなさんも、これからの鈴鹿短大のさらなる発展を暖かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。

# 鈴鹿短期大学の近況

## 生活コミュニケーションコース、スタート

生活学科長 川又 俊則

平成22年4月から、生活学専攻内に新コース「生活コミュニケーションコース」を開設しました。旅行・観光業やペットに関心を持ち、将来その方面で活躍したい学生たちが入学し、短大生活を順調にスタートさせました。これを「ヒューマンコミュニケーションコース(HC)」「ペットコミュニケーションコース(PC)」と区分し、ゼミ担当教員とともにそれぞれの資格取得(前者は旅行業務取扱管理者や情報系資格、後者は本学認定のドッグ・アドバイザーなど)を目指しています。HCでは、実務経験豊富な旅行業界の方が授業を担当し、英語や情報処理科目も多く履修しています。PCでは、ペット関連の仕事につきたい人や家庭犬インストラクターを目指す人に、基礎知識から実技までを、学校犬「すず」と触れあいながら学んでいます。



学校犬 すず

養護教諭・福祉コース、幼稚園教諭・保育士コース、栄養教諭・栄養士コースという従来の3コースは、短大2年間で資格を取得し、鈴鹿市や近隣地域等の各現場で即戦力となる人材を養成しています。新コースを加え、となりの「誰か」を支える人になる全4コースが揃いました。これらのコースに必要な学びとして、共感・共育・共食などの「コミュニケーション」が重要です。本学の教育全体を通じて、「生活コミュニケーション学」を新たに提唱していくため、生活コミュニケーション学研究所も新設しました。本学全教職員は、学生たちと一緒に新たな鈴鹿短期大学を作り上げようと思っております。

## これからの短大 ～ 鈴鹿短期大学の今 ～

事務局長 高久 岳博

本学は、平成23年度に創立45周年を迎えます。卒業生の皆様のご活躍とご支援の賜物と感謝する次第です。一昨年から、この歴史をよりどころにして、未来に向けてのビジョン創りを行ってまいりました。学科コンセプトを「生活コミュニケーション」とし、教育・研究活動を深化させ、地域に求められ、特色のある短期大学になっていくことを目指します。生活学、食物栄養、こども学の各専攻が、それぞれ「共感」「共食」「共育」というキーワードで結びつき、「生活コミュニケーション」というコンセプトにすることで、他大学に例のない特色が創出できると考えました。

この考え方に沿って、カリキュラム・シラバスを変化させ、キャリア開発系講座の充実等を図ってきました。また、募集活動については、本学の変化を大きく打ち出す形で展開してきました。結果、平成22年4月に146名の新入生(対前年比45%増)を迎えることができました。

ここ数年の活動の中から、「入学前支援」→「在学生支援」→「卒業後支援」の一環システムの重要性が確認されています。短期大学での学生生活は2年と短く、卒業後も3年から5年は支援・連携していく仕組みが必要と考えています。また、学内での講座、イベント、公開講座等の場にOB、OGの皆様に参加していただき(例えば講師として)、または企画・立案段階でご参加願うなど、今後は皆様との連携をさらに深く、強いものにしていきたいと考えています。

平成23年度を『生活コミュニケーション』の完成年次と置いています。教職員・学生一丸となって活動してまいりますので、よろしくお願いいたします。

### 生活学科

#### 生活学専攻

養護教諭・福祉コース  
生活コミュニケーションコース

児童・生徒の「こころ」と「カラダ」の健康を守るための専門知識と実践力を身につけます。同時に福祉の心も学びます。

人と人、人と動物、人と社会、人と自然等のコミュニケーションを深く学習。英語や観光ビジネス、小動物との共生、犬の飼育などを学びます。

#### 食物栄養専攻

栄養教諭・栄養士コース

人として健康な生活をおくるための食事や栄養指導、生活習慣病の予防などのアドバイスができる栄養士を目指します。

#### こども学専攻

幼稚園教諭・保育士コース

乳幼児のみならず18歳までの子どもたちを対象として、保育の専門的な知識や、音楽・体育・表現などの実技を学びます。

## 恩師を偲んで

謹んで、恩師諸先生のご逝去（平成20年～現在）をお知らせ申し上げます。再びお目にかかれない先生方の懐かしい面影がよみがえってまいります。青春時代に賜りました数々の教えは今でも私達の心に深く刻まれています。いただきましたご恩に対して深謝し、安らかなご冥福をお祈り申し上げます。

平成22年・・・堀 敬文先生 ・ 古田 悠先生 ・ 吉川 秀成先生  
平成21年・・・櫻井 悠郎先生 ・ 大谷 仁先生 ・ 塩見 俊朗先生 ・ 三田地 四郎先生  
平成20年・・・北川 博一先生

### 故 堀 敬文先生（初代学長）

#### 堀 敬文先生の紹介

昭和21（1946）年、第二代享栄学園理事長に就任し、戦後の学園復興に尽くされました。そして、鈴鹿国際大学、鈴鹿短期大学、享栄高校、鈴鹿高校、栄徳高校、鈴鹿中学校、享栄ビジネスカレッジ及び享栄幼稚園の8校（園）を開設、学園の発展に一生を捧げられました。

また、先生は、愛知・三重の両県下はもとより、我が国の教育界、とりわけ私学振興並びに私立学校に対する補助金の整備に大きく貢献されました。

このように学園及び私学教育に指導力を遺憾なく発揮された多大な功績は顕著で、藍綬褒章、愛知県知事表彰、文部大臣表彰、勲四等旭日小綬章、三重県民功労表彰など数々の受賞に輝いておられることは、教育一筋に歩んでこられた証といえましょう。



堀 敬文 先生

堀 敬文著 「私の履歴書」 鷲馬十駕  
学園記念誌 「写真で見る80年史 鷲馬十駕」・「温故知新」 より抜粋

私は、縁あって鈴鹿短期大学に就職させて頂き、在職中は何かと人一倍お世話になりました。お体の調子が余り良くないとお聞きしておりました折、先生の訃報を耳にし、驚きを隠せませんでした。

永年お世話になりましたので、数々の思い出がありますが、故人を偲ぶ昔語りの一部を紹介します。

昭和59年（1984）における、商経学科の設置に関わっていた時の事。

文部省（現文部科学省）での最後のヒヤリングを終えて帰る時は何故か、堀学長と私のみでした。新幹線で帰途に着き静岡付近で、相変わらずお酒好きの先生は缶ビールを空けられながら、窓越しに富士山を見て、「神尾、また同じ富士山が見られると良いがなあ」といわれました。今思うと何故、その様な事を……。

鈴鹿地区関係の故人の先生方へ、感謝とお礼を込めてお宅まで訪問した時の出来事。

ある先生の仏前から、なかなか離れようとはなされませんでした。私も後ろでお祈りをしていました。はたして何をその時話しておられたのでしょうか。

葬儀において祭壇上のあのダンディな遺影が目には焼き付いて離れません。

先生の思い出は、決して忘れることなく、ただただご冥福をお祈りするばかりです。

神尾 光員（元鈴鹿短期大学事務長）

昨年から、鈴鹿短期大学発展期・激動期の先生方の訃報を多く聞き、そして新しい年を迎えて間もなく堀敬文先生のご逝去の知らせに淋しさを一層募らせました。

昭和41年(1966)4月鈴鹿短期大学はわずか31名の入学生で開学しました。それでも学長となられた堀先生は、無から有へ、創造することに懸命でした。学校は教員・職員・学生の運命共同体だといつもいわれ、暖かい家族的雰囲気の漂う学内であったと思います。

「オッ元気か」ソフト帽を軽くあげていつも声をかけていただき、それが嬉しくて、とうとう約40年もの長きにわたってご指導を仰ぎ、お付き合いいただくことになりました。

1月31日、小雨降る中、覚王山 日泰寺で最後のお別れをした時「オッ元気か」遺影からこんな言葉がとびだしてきそうでした。

先生、長い間ありがとうございました。

安らかにお眠り下さい。

仲見 栄子 (元鈴鹿短期大学教務課長)

## 故 北川 博一先生 (元商経学科長・生活学科長)

鈴鹿短期大学商経学科に赴任された折、竹士伊助商経学科長より京都大学農学部農林経済出身の後輩で、アメリカ生活が長い人物であると紹介がありました。学科長は渡部、竹士、小松、治部田先生と受け継がれ、そのあと北川博一先生が就任されました。

最後にお会いしたのは、商経学科新設にご尽力くださった柏祐賢先生の告別式でした。

北川先生は京都人気質を醸し出す雰囲気があり、自分の考え方を時間の経過と共に納得させるという人柄でした。

研究分野は国際コミュニケーションで、日本実用英語学会を始め多くの学会に所属されていました。

退職後は享栄学園退職者の会の役員を通して、鈴鹿短期大学のさらなる発展を期待されておられました。

ここに先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。



北川 博一先生

出雲 敏彦 (元鈴鹿短期大学助教授・現鈴鹿国際大学教授)

商経学科が軌道に乗り、これからもっと躍進していこうとしている時北川先生に来て頂きました。今はお亡くなりになったが当時の商経学科長竹士先生と二人で北川先生の面接をさせて頂きました。今思えば恥ずかしさで一杯です。私のような若輩者が大先輩を面接したのですから。しかし、丁寧に答えて頂いたことを鮮明に覚えております。

「先生、お酒は飲めますか」と質問すると「大好きです」と答えて頂き面接の場が和やかになったことを覚えております。同じ関西の出身で言葉使いも似ていましたし親密感もありました。しかし、先生は京都弁、私は播州弁で品がありませんでした。竹士先生も京都人でよく鈴鹿の町を飲み歩いたものです。

今は、天国で二人飲み歩いているのではないのでしょうか。「岩城早く登ってこい」といっているようです。もう少し地上におらせて下さい。そのうち行きますよ。

岩城 正則 (元鈴鹿短期大学助教授・鈴鹿国際大学入試広報室長)

## 故 櫻井 悠郎先生 (元生活学科長)

櫻井悠郎先生は私と研究室が隣り同士ということもあって親しくお話をさせて頂く機会に恵まれました。本学でお見受けした先生は温厚でお話好きという印象ですが、研究者・県職員として長年勤めあげた厳しさ、律律しさを感じるところも時折有りました。私が垣間見させて頂いた先生の横顔の一端を思い出としてお話しします。

厳しさという点では、大学卒業後地方公務員という職に就きながらその職に甘んずることなく微生物学の研究を二足の草鞋を履いて続けられました。毎日勤務後三重大大学の研究室に通うことによってそれは成されました。先生の入られた研究室の教授は私も知るどころの大変有名な教授でした。有名は厳しさをもって名を馳せておりました。従う医局の面々からは大変畏怖されていたと聞きます。この敷居の高い研究室に退庁後夜な夜な通われ深夜まで研究を長年遂行され、見事博士の資格を取得されたについては先生のご努力とご人徳が自ずと偲ばれます。連日深夜に及ぶ研究の取り纏めは翌日奥様のご自宅でご書留めすることで完成したようです。ご夫婦の協同作業で得られた業績です。研究室で「家内が・・家内が」と奥様が主語となるお話を多々お聞きしたのが微笑ましい思い出です。

厳しさの極めつけは、中国で半年程研究生活をされていたと聞いた上で敢えて先生にお願いした中国現地入試での一件です。当時真冬に実施しておりましたこの現地試験を済ませてお帰りになった後1・2週間経ってやはり研究室にて私におもむろに仰しゃったことが実に恐ろしいことでした。冬の夜の中国のある街でお疲れ気味の先生は歩道を歩くうち目の前が真っ暗になったそうです。そしてまた両脇をひどく痛めたとのことでした。よくよくお聞きすると路上のマンホールのふたが空いておりその中に落ち込んでとっさに両腕で自らの身を支えることによって全身飛び込むことを防いだようです。もしこのディフェンスが無ければ大事に至っていたことです。同行の若い職員には多くを告げず帰国してからの報告のようでした。やはりアフリカでの大変厳しい研究環境についても伺ったことがあります。暖衣飽食では研究は出来ないものとその時何気なく思い、「凄い方だ」と改めて櫻井先生のお顔をまじまじと見た記憶があります。若い頃懸命に研究に明け暮れて、誠実に職責を果たされ、本学では「やさしい学科長」としてニコニコした顔が印象的な櫻井先生にまたお会いすることも無い寂しさを痛切に感ずるところです。

堀 敬紀 (元鈴鹿短期大学学長・学科長)



櫻井 悠郎 先生

## 故 古田 悠先生 (元図書館長)

拝啓  
先般はご多用中にも拘らず、故父古田 悠の葬儀にご参列戴き、その上ご鄭重なる御玉串ならびに御供花まで賜り、御懇篤なご弔意誠に有難く衷心より御礼申し上げます。生前故人が貴短大、学園の皆様には永くご厚誼賜りましたことに篤く深謝申し上げます。急な事乍ら、ご縁深き皆様に見送られ父もさぞかし喜んでおりましたかと存じます。

扱その折お話しさせて頂きました「新説 邪馬台国論」をお贈りさせて頂いていただきます。差当り手元に残っていた束より五冊ほど同封申し上げましたが、この本を携えて、同窓会で皆様とお目にかかることを楽しみにしていた様子で、最期まで充実した時間を持てた事がせめてもの救いと存じます。奇しくもこちらが遺稿と相成りましたが専門を超えてなお、真を追究するという父の姿も垣間見る想いが致しますので広く皆様に一一読賜りご感想を胸に抱いて戴きましたら幸いに存じます。

此度、雑事に取り紛れ御礼が遅くなり大変失礼いたしました。今後とも何卒変らぬ御指導御高誼を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。本来拝眉のうえ御禮申し上げますところ甚だ恐縮でございますが、書中をもちまして右ご挨拶申し上げます。

謹白

平成二十二年六月

古田家一同

鈴鹿短期大学同窓会 皆様様



邪馬台国論 / 古田 悠著

# 卒業生アンケート ～ 母校が遠い卒業生 ～

## 卒業生調査の概要

平成20年6～7月、鈴友会の全面協力のもと、本学で初めて卒業生調査（「鈴鹿短大卒業生の学習・生活・仕事・意識に関する調査」）を実施し、単純集計の分析結果を、『鈴鹿短期大学紀要』29巻（平成21年2月発行）に掲載いたしました。

回答者は、コース別には、養護教諭・福祉コース48%、栄養教諭・栄養士コース28%と、この2コースが全体の4分の3でした。全国各地に居住された回答者でしたが、とくに三重県内に6割（うち鈴鹿・津・四日市3市で3割）が集中していました。創立44年目の本学ですが、やはり養護や栄養の伝統、地元密着ということを再確認しました。入試方法は推薦入試（7割）、学力試験（2割）が多く、入学理由（複数回答）は「資格」「学びたい分野」が過半数以上の回答、各コースで推奨された資格もかなりの割合で取得していました。

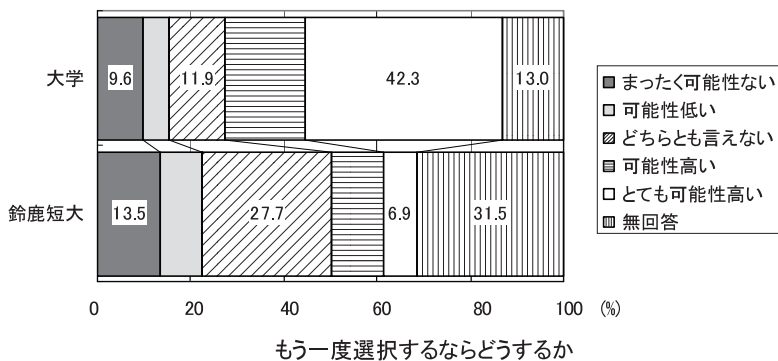
入学後の期待は、プラス評価が13%、マイナス評価が41%（他は中間評価）、「いま、もう一度高卒後の選択」を問うと、本学選択の可能性がない人が22%（ある人は18%、他は不明・無回答）と、厳しい結果でした（約6割は4年制大学希望）。短大卒業後の学習経験は1割ほどでしたが、本学で開催されている「ライフセミナー」「パン教室」などの公開講座には、実に9割以上が「参加経験なし」でした。本学が「生涯学習」の場を提供し切れていないことが推察されます。

本学への評価は、「仕事を見つける」「職務をこなす」「人間関係」「教養を深める」などの項目でプラス評価を得ており、現在の仕事も3分の2ほどが満足されており、資格を取得しての就職という本学入学目的を達成した人たちには一定程度の評価を頂いていることも示されました。

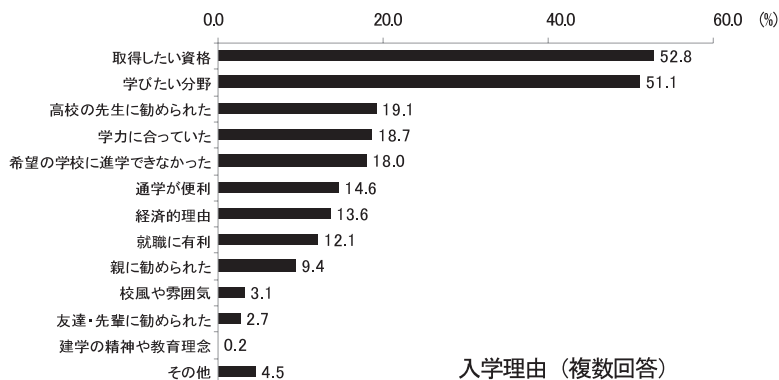
簡単な報告は以上ですが、結果の詳細は、拙稿「母校が遠い卒業生」（上記所収）をご覧ください。集計結果を分析した筆者は、肯定的評価をいただいていない卒業生たちの方々と本学との間で、「距離感」が適切ではなかったのではないかと考えました。その後、ホームカミングデー開催、新コース開設、生涯学習の様々なプログラム提供、生活コミュニケーション学研究所設立等、本学全教職員と一致団結しながら、少しずつ改革を進めております。ただし、それが適切かどうかは、再び、卒業生の皆さんからの厳しいご指摘を頂戴できればと思っております。

突然の依頼にもかかわらずご協力賜りました638名の皆様、また、協力に至らずともご意見等頂戴しました皆様、さらに、鈴友会の会長他役員の方々、誠にありがとうございました。引き続きのご支援を何卒よろしく願います。

川又 俊則



	人数	(%)
ない	586	(91.8)
ある	40	(6.3)
無回答	12	(1.9)
合計	638	(100.0)



# 鈴友会 総会報告

## 平成 20 年度

平成 20 年 7 月 5 日（土）開催。佐治学長の記念講演に続き総会、茶話会を実施しました。今回は、昭和 60～63 年卒業生に呼びかけました。卒業生の参加数が少なくさみしい総会となりましたが、恩師の皆様と近況報告など話がつきない和気藹々の会となりました。

## 平成 22 年度

平成 22 年 6 月 5 日（土）は好天に恵まれ、無事終わることができました。今回は、ホームカミングデーという学校行事と合同開催で、鈴友会総会並びに滋賀県支部総会も同時に開催いたしました。

佐治学長のご講演は、懐かしい“ふるさと”の歌が流れる中、宇宙から見る青く澄みきった神秘的な地球の映像から始まり、私達が住む地球の美しさに感動を受けました。さらに、「現代宇宙研究から 絆 を考える」をテーマに話され、改めて人類の深いとらえ方を考えさせられました。

平成 1～5 年卒業生を対象に呼びかけ、60 余名もの参加がありました。総会後は学生ホールで、軽食をとりながら同窓生や恩師の皆様と楽しいひとときを過ごしました。



会報 Bell Friend は、3 号から希望者のみお送りいたします。

平成 24 年度総会は平成 6～10 年卒業生を対象に呼びかけますので、ぜひ参加してください。

## ～ 総会に出席して ～

前滋賀県支部 部長 平尾 友子  
前滋賀県支部 副部長 内山 えみ子

心待ちにしていた総会は真夏のような暑い日でした。参加者たちの熱い思いと同じように。開催時間になると今時の若者に混じり続々と熟女たちが集まってきます。一瞬、今日は何の研修だったかなあ。大きな声と喜びの握手が入り混じり、思い出せない記憶を手繰り寄せると、そこには四十年前の顔がありました。

元気だった？今どこにいるの？仕事は何？必要な資料があれば何でも使ってね。いいですね！やはり同窓生は何でも話ができ！あの頃よりは少し成長した私達、これからの人生助け合って生きていきましょう。

縁あって、鈴鹿短大でいっしょに机を並べて勉強したのです。皆さんも総会に参加してみませんか！ひとときの間あの頃の熱いきもちに戻れますよ！

今回の学長の講演「絆を大切に」は胸にせまるものを感じました。そして、私達の先輩 山田先生が「名誉教授」に浴されたことは嬉しいニュースでした。

では、またお会いする日まで。お元気です！



# 鈴友会 事業及び会計報告

## ●事業報告（平成20年4月1日～平成22年3月31日）

<b>【平成20年度】</b> 役員会：4/15、5/21、6/20、7/29、3/4、3/18 ・Bell Friend 2号発送、総会運営 総会：7/5 ・18、19年度会計 会計監査 事業報告 ・役員選出 ・20、21年度事業案	<b>【平成21年度】</b> 役員会：10/2、12/3、2/19 ・Bell Friend 3号について ・役員選出について ・総会案内（ハガキ発送について）
---	---

## ●決算報告書（単位：円）

平成20年度報告書（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

収入の部		支出の部	
前年度繰越金(普通預金) <sup>※</sup>	1,317,943	印刷代	354,165
(定期預金)	2,895,060	事務費	64,286
終身会費 (H20年度 卒業生)	600,000	通信費	522,900
利息 (普通預金)	1,056	総会費	105,824
(定期預金)	8,128	役員会議費	19,106
		人件費	42,850
		慶弔費	34,461
		卒業記念品	58,500
		祝花代	15,750
		小計	1,217,842
		次年度繰越金 <sup>※</sup>	3,604,345
合計	4,822,187	合計	4,822,187

※1 終身会費（H19年度 卒業生）¥675,000-含む

※2 終身会費（H20年度 卒業生）¥600,000-含む

平成21年度報告書（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

収入の部		支出の部	
前年度繰越金(普通預金) <sup>※</sup>	701,157	印刷代	43,890
(定期預金)	2,903,188	事務費	39,410
終身会費 (H21年度 卒業生)	555,000	通信費	352,650
利息 (普通預金)	226	役員会議費	3,898
(定期預金)	8,129	人件費	32,550
		慶弔費	60,263
		卒業記念品	54,500
		小計	587,161
		次年度繰越金 <sup>※</sup>	3,580,539
合計	4,167,700	合計	4,167,700

※1 終身会費（H20年度 卒業生）¥600,000-含む

※2 終身会費（H21年度 卒業生）¥555,000-含む

上記の通り、ご報告させていただきます。 会計 三浦 彩 ㊟

以上、監査するに事実相違ありません。 監査 高久 岳博 ㊟

## H22年度 新役員 紹介

### 本部役員

名誉会長	佐治 晴夫	(学長)
会長	増田 文子	(昭和44年度・栄養士コース卒)
副会長	鎌田 美千代	(昭和56年度・養護教諭コース卒)
書記	永岡 宏行	(平成16年度・栄養士コース卒)
	寺田 圭吾	(平成18年度・養護教諭・福祉コース卒)
会計	元木 ひとみ	(平成4年度・商経学科卒)
	三浦 彩	(平成14年度・栄養士コース卒)
監事	高久 岳博	(事務局長)
顧問	福永 峰子	(昭和53年度・栄養士コース卒)
	岡野 節子	(昭和45年度・栄養士コース卒)
	山田 芳子	(昭和43年度・栄養士コース卒)
事務局	有竹 千鶴	(昭和61年度・商経学科卒)

### 滋賀県支部役員

支部長	伊藤 裕美	(昭和52年度・養護教諭コース卒)
副支部長	植村 靖子	(昭和47年度・栄養士コース卒)

## ～ 卒業生近況 ～

- ◆ 養護教諭として 37 年間働かせてもらっています。自分ひとりの力ではなく、まわりの人々に感謝しながらの毎日です。働けることは大きな喜びです。 (昭和 47 年度卒)
- ◆ 五十鈴塾で日本文化の発信、啓蒙の活動を始めて 8 年。文化活動の奥の深さと運営の難しさを実感しております。 (昭和 48 年度卒)
- ◆ 名古屋学芸大学と同短期大学部で非常勤講師をしております。 (昭和 49 年度卒)
- ◆ 「健康教室」2月号(2010.1.8発行)に私の実践、「担任とともに取り組んだ生と性の教育」が掲載されました。 (昭和 53 年度卒)
- ◆ はじめての中学校勤務です。トイレに行くのにも保健室にカギをかけることなど、小学校では考えられなかった状況です。先日「健康教室」で先輩の実践を見て、私も頑張らなければと感じたところです。 (昭和 54 年度卒)
- ◆ 現在「画家」として美術年鑑に名前がのっています。養護教諭の知識を基にアートセラピーもとりくんでいます。 (昭和 56 年度卒)
- ◆ 仕事に追われて資格取得のための勉強もなかなかままならずです。1月30、31日愛知県で開かれる保育所給食セミナーで実践レポートを出します。 (平成 17 年度卒)
- ◆ 中国から鈴鹿短期大学に来て 2 年間の学生生活を終え、病院栄養士の仕事に就き 3 年目を迎えています。日本で念願の栄養士として働けたことは、私の人生のターニングポイントとなりました。また、先生方から受けたご指導と温かい対応を思い出しては自分自身を勇気づけています。そして、職場の皆様の応援とご理解をいただきながら自分の夢の実現のため、日本の優れた技術を身に付け、さらに新たな挑戦にも臨みたいと思っています。 (平成 19 年度卒)
- ◆ 私は今、栄養教諭として特別支援学校で働いています。給食の献立作成や、食育の授業などを行っています。栄養教諭となって 1 年目で、毎日分からないことだらけで、とても忙しい日々を送っています。そんな中、最近嬉しかったことがありました。高等部 3 年生に朝ご飯についての授業の一環で卵料理の調理実習を行ったのですが、次の日ある生徒が、家族へ朝食に目玉焼きをふるまったと聞きました。伝えたいことが伝わり、そして家庭で応用してくれ、とても感動しました。「先生～！給食おいしかったよ！」と駆け寄ってくる子どもの笑顔がもっとみられるように、頑張っています！！ (平成 20 年度卒)
- ◆ 津市内に 3 園ある保育園で保育士として頑張っています。大変なこともありますが、可愛い子どもたちに囲まれて楽しく仕事をしています！！ (平成 19 年度卒)
- ◆ 今年の 3 月に短大を卒業して、現在、保育士として働いています。責任感の重みを感じながら、こどもたちの笑顔を見ると癒されて、また頑張ろうって気持ちになれます。 (平成 21 年度卒)

### 編集後記

多くの恩師がご逝去され、当時の教職員の先生方より追悼文をお寄せいただきました。また、他大学にはない特色のある「生活コミュニケーションコース」が開設され、益々発展する短大を感じ、会員からのメッセージも多い、会報発行となりました。

鈴鹿短期大学HPでは、同窓会関連のイベントなどたくさん情報を掲載しています。クラス会報告、近況報告等も、こちらから見るができますのでぜひ、ご覧ください。

**\* 同窓会のホームページ \***

<http://www.suzuka-jc.ac.jp/> (鈴鹿短期大学 HP 内 卒業生の方)

〒513-8520 三重県鈴鹿市庄野町 1250 番地 TEL(059)378-1020